

# くらしの願いをしっかりと市政に届けます

## 大軍拡大増税NO!

「新しい戦前になりそうだ」  
こんな不安が広がっています。他国を攻撃する兵器を爆買いする岸田政権。軍拡ではなく、憲法9条を生かした平和外交こそ大切です。日本共産党は、平和とくらしを壊す大軍拡・大増税に反対です。憲法の理念が生きる新しい政治に変えましょう。

小林まみ子さんは、春の陽ざしのような温かさと、芯の強さを併せ持つ人です。「平和な社会を子どもたちに」を信条に、5期20年、暮らし・福祉・教育を守るために奔走してきました。



飯田美弥子弁護士

岸田政権の大軍拡、何事も自己責任を押しつける政治のもとで、市民のいのちを守るまみ子さんの議席は絶対に必要です。

日立市の224億円のたためこみ金を活用して、なによりいのち最優先に!



市長に予算要望を111項目提出

## 実現をめざします

- 東海第2原発再稼働ストップ
- 県産業廃棄物最終処分場建設計画の撤回
- 学校給食費を4月以降もゼロに
- 18歳までの子どもの国保料ゼロに
- 0歳～2歳の保育料をゼロに
- 高齢者への補聴器購入費助成
- 高齢者の交通手段確保

## 国に実現をせまります

- 年金削減ストップ
- 消費税5%へ緊急減税。  
インボイス制度は中止に。
- 中小業者を支援し、  
最賃・時給1,500円に。
- 学費は半額に。給付型の奨学金拡充  
少人数教育を中学校まで早期実現を



日頃のご支援、ご協力ありがとうございます。政治が変わらなければ、くらしは悪くなるばかりです。困難に寄り添い、願い実現のために議会で働かせてください。私は一人ひとりが大切にされる市政をめざして全力を尽くします。ご支援をどうぞよろしくお願いいたします。

## プロフィール

1964年3月生れ(59歳)  
勝田一中、県立東海高校、茨城キリスト教短期大学卒  
日立市議会議員(5期)  
新日本婦人の会日立支部員  
家族 夫、一男二女  
趣味 読書、料理  
自宅 弁天町  
電話 090-1211-8810



子育て、仕事、老後に希望ある日立市を一人ひとりが大切にされる市政をめざします

日本共産党

日立市議会議員

# 小林まみ子

## 4月23日投票 日立市議会議員選挙

定数削減(4減)で24議席を争う厳しい選挙です。日本共産党の2議席は「住民が主人公」を貫きます。どうぞ、ご支援の輪を広げてください。以下、主な活動地域です。

小林まみ子 鮎川より北(東成沢町、中成沢町、西成沢町、成沢町 以北)  
千葉たつお 鮎川より南(国分町、鮎川町、諏訪町 以南)

2023年春季号外 発行/日本共産党日立市委員会  
連絡先/日立市石名坂町 1525-21 電話 0294-53-8501  
日本共産党の政策と小林まみ子市議の活動を紹介します

民報日立

## 8時間働けば普通にくらせる社会を

新型コロナの危機のもとで労働者の働き方、生活は深刻な状況です。普通に働いても生活できない状況が広がっています。くらしと経済を立て直すには、賃上げと安定した雇用の拡大が必要です。

そのために、政治の責任で、大企業がためこんできた内部留保の一部に課税し、賃上げや正社員化を実現し、新たな雇用をつくる必要があります。



大甕駅西口や常陸多賀駅にて政策を訴えています

## 県産業廃棄物最終処分場建設の撤回を

日立市に計画されている県産業廃棄物最終処分場の建設をめぐって、日本共産党日立市議団は、市民の理解が得られていないこと、産廃処分場が作られて地元が振興することは無いこと、水がたまる沢に作ることで洪水が避けられないことなどを追及し、処分場建設の撤回を一貫して求めてきました。

日本共産党茨城県議団と連携し、茨城県議会でも処分場問題を追及してきました。

引き続き、市民の皆さんと力を合わせて処分場建設計画の撤回を求めます。



県産業廃棄物最終処分場の候補地となっている唐津沢(諏訪町)

## 東海第2原発再稼働ストップ

水戸地裁は2021年3月18日「実効性ある避難計画や防災体制が整えられているというにはほど遠い」として東海第2原発の運転を認めない判決を下しました。

東海第2原発の30km圏内には私たち94万人がくらし、避難計画が策定済みなのは県と5市町のみで、日立市も避難計画はできていません。

安全に避難させることは出来ず、広域避難計画を作ることは不可能であると、日立市議会で質問、追及してきました。

再エネを推進し、東海第2原発の再稼働ストップを求めます。



稼働44年を過ぎた東海第2原発

## 日本共産党日立市議団

小林まみ子市議と千葉たつお市議で力を合わせます  
実現してきました

- 学校給食費の無償化(2020年4月～8月、2023年1月～3月)
- 女性カウンセリング相談、男性電話相談、性的マイノリティ電話相談の設置
- 市独自のPCR検査の継続、拡充
- 市営住宅入居で保証人が不要に
- 18才以下の子どもの国保料均等割りを半額に
- 18才以下医療費(外来、入院費と食費)が無料に
- 日立市独自の奨学金制度の拡充(120人から180人へ拡充)



千葉たつお市議と小林まみ子市議